

年頭所感

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は北海道労働金庫に対しまして、ひとかたならぬご高配をたまわり厚く御礼申しあげます。

私ども北海道労働金庫では、2025年度からスタートした新たな経営計画である「長期ビジョン（～2035年度）」・「中期経営計画（2025～2029年度）」をもとに事業運営に励んでまいりました。

これらの新経営計画では、前回の長期ビジョンのキーワードであった4つの環（会員・地域・利用者・ろうきん内）を踏襲するといった考えのもとに、ろうきん理念に記載の「ろうきんは働く人の福祉金融機関」や「共生社会の実現に寄与する」との想いを込め、「未来の共生社会をきずく、はたらく人のベストバンク」を掲げました。

本年も引き続き、共に運動を進めていただいております会員・推進機構の皆様と想いを共有しながら、各種取組みを進めてまいります。

当金庫ご利用のお客様をはじめ、道民の皆様の益々のご多幸を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

2026年 元旦

北海道労働金庫
理事長 杉山 元